

# 第3次宍粟市配偶者からの暴力対策に関する基本計画の概要（第1回配布資料の抜粋）

## V 数値目標の設定

No.	指標名	基準値（現状値）	目標値		資料
			令和7（2025）年度		
1	「デートDV」という言葉の認識度（内容を知っている）	— （参考値：49.9%）	75% ※		男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
			★参考★ 男女共同参画プランの目標値		
			令和6（2024）年度	令和11（2029）年度	
			70%	100%	
			<p>【類似団体等比較】 加東市〈目標値〉設定なし 〈基準値〉H29：43.3%                      朝来市〈目標値〉令和4（2022）年度：50% 〈基準値〉H28：32.5%                      養父市〈目標値〉設定なし 〈基準値〉H28：18.1%                      加西市〈目標値〉設定なし 〈基準値〉H28：37.0%</p> <p>【人口類似団体等比較】 徳島県阿波市（3万人規模） 〈目標値〉平成30（2018）年度：95% 〈基準値〉H26：30.5%                      奈良県大和郡山市（8万人規模）〈目標値〉令和5（2023）年度：100% 〈基準値〉H30：33.9%</p> <p>【考え方】 本市アンケート結果から「<b>配偶者等からの暴力（DV）の認知度は71.3%</b>と高くなっているが、「恋人からの暴力（デートDV）」についての調査は行っておらず、基準値は持ち合わせていない。※『恋人からの暴力について、経験したり、見聞きしたりしたことがあるか』の問いに対する回答をみると、「<b>知識として知っている</b>」が49.9%、「ことばは聞いたことがある」が29.3%、「ことばも聞いたことがない」が13.5%となっている。また、国・県計画に同様の数値目標の設定はないが、男女共同参画プランの5年後の中間目標値の70%及び類似団体等の数値目標を参考に、「恋人からの暴力（デートDV）」の認識度を「配偶者等からの暴力（DV）」のレベルまでの向上をめざし75.0%とする。</p> <p>※&lt;参考&gt;男女共同参画プランから割り戻すと <math>(100\%-70\%) \div 5\text{年間} = 6\% / 1\text{年間}</math> R6年度 <math>70\% + 6\% = 76\%</math> ←</p>		
<p>指標名</p> <p>基準値（現状値）</p> <p>目標値</p> <p>令和7（2025）年度</p>		資料			
2	DVについて相談できる窓口の認知度（知っている）	—	100%		男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
			<p>【類似団体等比較】 相談窓口を知らない人の割合                      養父市 H28：8.8% 〈目標値〉設定なし *市の相談窓口の認知度 23.6%                      加西市 H28：57.2% 〈目標値〉設定なし *市の相談窓口の認知度 34.1%</p> <p>【考え方】 本市アンケート結果から「<b>配偶者や恋人から暴力を受けたことがある</b>」と答えた人への「<b>どこ（だれ）かに相談しましたか</b>」の問いに対し、「<b>どこ（だれ）にも相談しなかった</b>」と回答した人が最も多く<b>45.2%</b>となっている。相談した人の相談先については、「<b>家族や親族</b>」が<b>34.4%</b>と最も多く、次いで「<b>友人・知人</b>」が<b>25.8%</b>となっている。                      また、「<b>どこ（だれ）にも相談しなかった</b>」と答えた人への「<b>相談しなかったのは、なぜですか（複数回答可）</b>」との問いに対する回答については、選択肢に「<b>相談先がわからなかった</b>」がないため、相談窓口の認知度は不明だが、「<b>相談してもむだだと思ったから</b>」が<b>40.5%</b>と最も多く、次いで、「<b>自分さえがまんすれば、何とかこのままやっていると</b>思ったから」が<b>38.1%</b>となっている。                      相談先として「<b>公的機関の相談窓口、電話相談など</b>」と回答した人は、2.2%、「<b>保健所・保健センターの保健師</b>」は3.2%、<b>警察</b>は5.4%、<b>配偶者暴力相談支援センター</b>は1.1%といずれも低い状況である。市の相談窓口はもちろん、国や県、警察、民間運営団体など、いつでも相談できる窓口があるということを周知していく必要があるため目標値を100%に設定する。</p>		

指標名	基準値（現状値）	目標値		資料
		令和7（2025）年度		
配偶者等や恋人から暴力を受けたことがある人のうち、被害を相談した人の割合	男性：41.2% 女性：50.7% (平成30年度)	男性：51.0% 女性：61.0%		男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
		★参考★ 男女共同参画プランの目標値		
		令和6（2024）年度	令和11（2029）年度	
		男性：50.0% 女性：61.0%	男性：58.0% 女性：70.0%	
3	<p>【内閣府男女共同参画局調査〈平成26年12月〉】全国平均（男性：16.6%、女性：50.3%）</p> <p>【国比較】〈令和2年度〉国第4次計画：男性 30%、女性 70%</p> <p>【類似団体比較】 ※参考 「どこにも相談しなかった人」の割合 「どこかには相談した人」の割合</p> <p>加東市：H29 52.8%（前回 H25 65.9%） → 47.2%</p> <p>朝来市：H28 48.1% → 51.9% ※目標値〈令和4（2022）年度〉 80%</p> <p>養父市：H28：80.0% → 20.0%</p> <p>【考え方】全国平均（男性：16.6%、女性：50.3%）及び国第4次計画の成果目標と比較すると、本市の男性はいずれの数値も上回る高い値となっている。女性も全国平均を上回っているが、国第4次計画の成果目標（70%）には達していない。</p> <p>第2次宍粟市男女共同参画プランの中間目標値（<u>現状値の約10%増</u>）を参考に数値目標として設定する。</p> <p>※＜参考＞男女共同参画プランから割り戻すと</p> <p>【R6年度中間目標まで】 男性 <math>(50\%-41.2\%) = 8.8\% \div 5 \text{年間} = \underline{1.76\%} / 1 \text{年間}</math> 女性 <math>(61\%-50.7\%) = 10.3\% \div 5 \text{年間} = \underline{2.06\%} / 1 \text{年間}</math></p> <p>【R11年度中間目標まで】 男性 <math>(58\%-50\%) = 8\% \div 5 \text{年間} = \underline{1.6\%} / 1 \text{年間}</math> 女性 <math>(70\%-61\%) = 9\% \div 5 \text{年間} = \underline{1.8\%} / 1 \text{年間}</math></p> <p>◆ R6年度の中間目標値+後期の1年間の割合 男性 <math>50.0\% + 1.6\% = \underline{51.6\%}</math> 女性 <math>61.0\% + 1.8\% = \underline{62.8\%}</math> ←</p>			